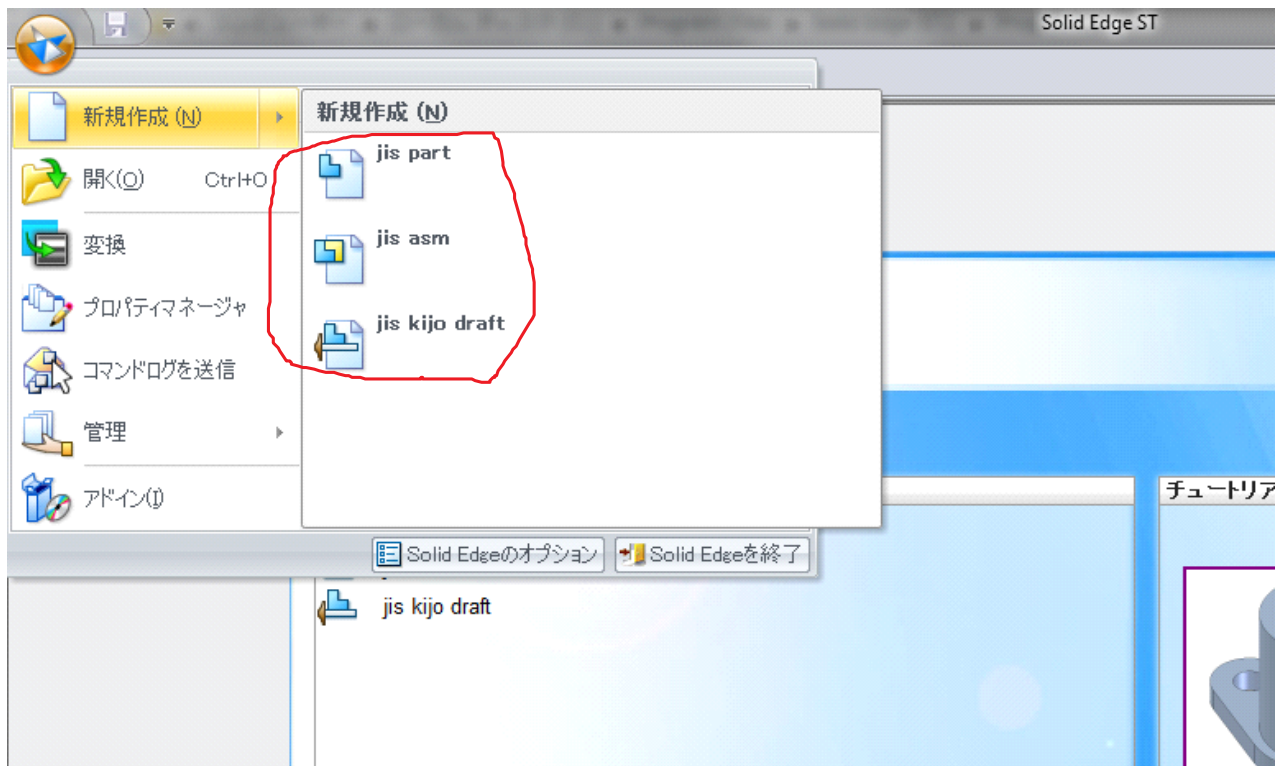
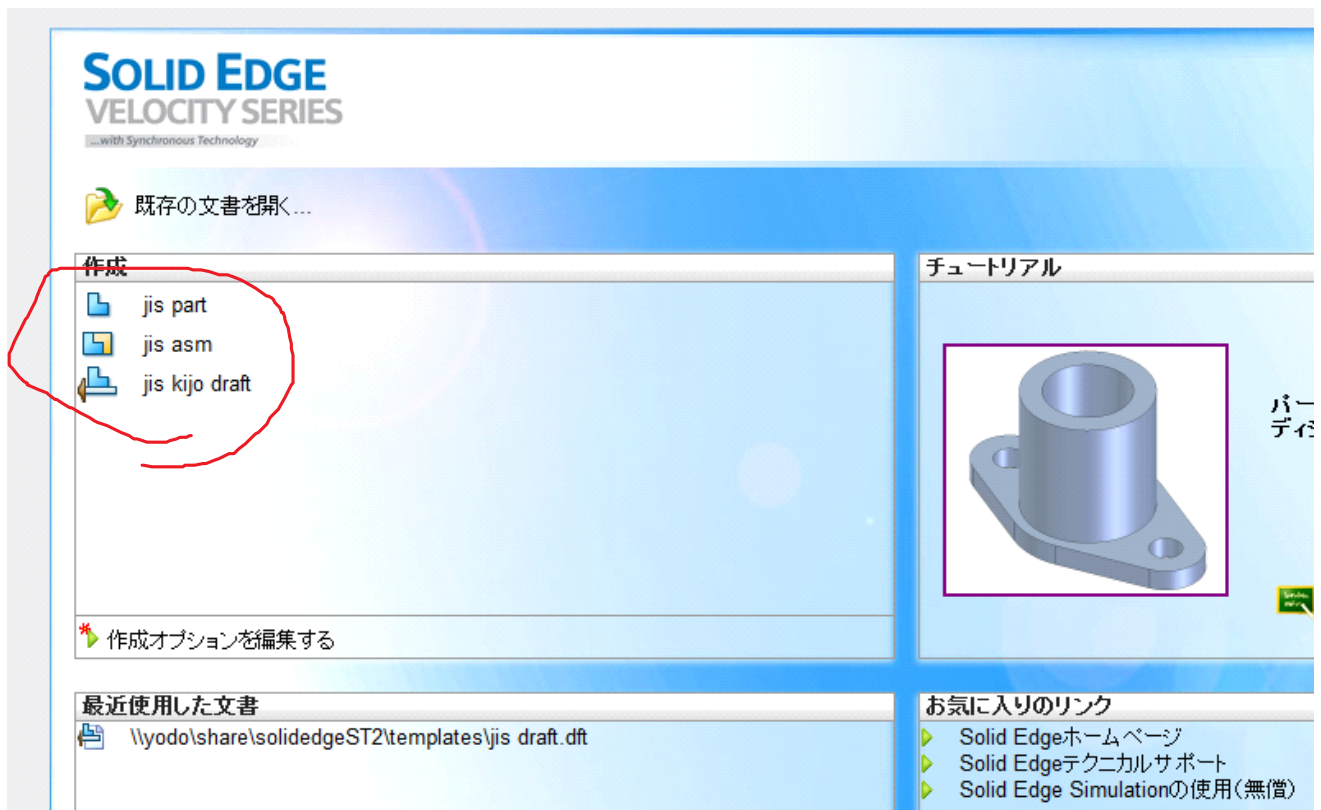


templateの使い方

2012年4月26日
17:49



画面の領域の取り込み日時: 2012/04/26 17:51



画面の領域の取り込み日時: 2012/04/26 17:51

parファイルを作ったときは必ず材質を設定して更新する
このとき選択した材質がドラフトにも表示されるので、記号だけの材質を作っておくと便利→Material.mtlを入れる
また、ファイルのプロパティから

- 概要->タイトル、作成者

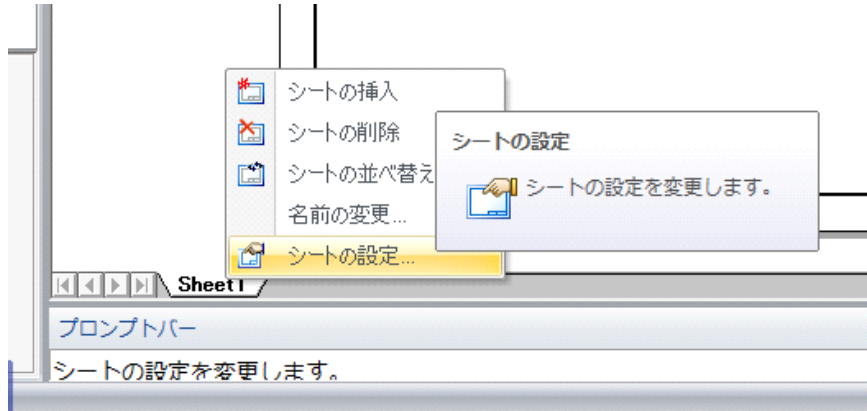
- カスタム->個数 工程 備考

を編集しておく。

そうするとドラフトを作ったときに勝手に入るようになっている

組み立て図をかく

Sheet1で右クリックしてシートの設定を開く



画面の領域の取り込み日時: 2012/05/24 12:54

背景タブの背景シートをassemblyのものに変更する

(右下に一行だけ表示されていたパーツリストが消える)



画面の領域の取り込み日時: 2012/05/24 12:55

asmのビューを作る

パーツリストをクリックした後そのビューをクリック

自動バルーンとパーツリストを配置がオンになっているのを確認して、プロパティの▼をクリックして紙のサイズに応じてJSK-A2などを選ぶ。



その状態で、図面のどこでもいいのでクリックするとちょうど良い場所に表ができる。

